



第48号

Aigo ~愛護~

令和4年3月18日

平塚市公園愛護会連絡協議会

少しずつ暖かくなり春らしさを感じられる頃となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。近頃は日中がすっかり暖かくなり、冬が終わり春の日差しがきらめいています。今年度も多くの公園維持管理にご協力いただき、誠にありがとうございました。コロナ禍が続く中、日頃からたくさんの公園ゴミ回収依頼のご連絡をいただきました。感染症対策の上、公園清掃にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



こんなときどうしたらいいの？

Q：公園を歩いていたらカラスがひどく威嚇してくる。

A：例年5月から7月にかけて、カラスの威嚇等による被害が最も多く見られます。これは、親ガラスが卵や雛を守るために、巣や巣立ち直後で地上に降りている子ガラスの近くを通行する人などを威嚇したり、攻撃したりするようになるからです。繁殖期のカラスが全て人に攻撃するわけではありません。

カラスの威嚇・攻撃被害にあった場合は、まず近くに巣や巣立ち直後の子ガラスがないか確認し、できる限り近づかないようにしてください。市の管理する土地で被害が出た場合は、管理する各担当が対応します。市の公園で被害が出た場合は、みどり公園・水辺課までその旨を御連絡ください。注意看板の設置や迂回路の指定等によって被害の回避を図ります。これらの方法だけでは被害が軽減されない場合は、巣を撤去する、あるいは子ガラスを捕獲することで被害の防止を図りますが、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」により、許可なくカラス（卵・雛を含む）を捕獲することはできませんので、原則、巣の撤去や子ガラスの捕獲は行いません。これを行うことにより、親ガラスの攻撃性が増す危険性もあります。また、稀ではありますが、繁殖に失敗した場合はもう一度繁殖をやり直すこともあります。

利用者・通行者の方は、巣周辺を通らないようにしていただき、それでも攻撃される場合は、腕を垂直に上げて歩く、傘をさすなどの被害対策も合わせてお願いいたします。カラスは後ろから人の頭を目がけて飛んできて足で蹴って攻撃するため、習性として腕や傘などが羽に接触するのを恐れます。



八幡山公園の花壇にペチュニアを植えました

3月16日、八幡山公園愛護会の方々と一緒に、公園北西側花壇に花植えを行いましたので、作業の様子をご紹介します。平塚郵便局の目の前の道路に面している花壇で、たくさんの人通りがあるところです。近くにお越しの際は、是非きれいなペチュニアをご覧くださいできればと思います。



納品されたペチュニア

ペチュニアは開花時期が長く、初心者でも育てやすいとされています。

作業後の花壇

まだ蕾の苗が多いですが、これからきれいな濃い色の花を咲かせます。



腐葉土と土をよく混ぜてから、花苗を植えていきます。植えた後はたっぷり水やりを行いました。

花壇で元気に濃いピンクの花を咲かせています。他の蕾は何色が咲くか楽しみです。



ご協力ありがとうございました

須貝会長は、浅間町町内会長も16年務められ、今年度で愛護会長と町内会長を終えられます。大変長らく地域に貢献いただき、ありがとうございました。

ご協力いただいた愛護会の
会長 須貝さん (中)
副会長 芹川さん (向かって右)
副会長 腰塚さん (向かって左)

